

このたび、令和3年12月10日の第29回理事会で承認された全国介護事業者連盟 障害福祉事業部会 副会長に選任されました、まごのてグループ株式会社 代表取締役 植野康弘と申します。
全国の障害福祉事業所の発展のため、フットワーク・ネットワークを駆使していきます。
皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、14年前に京都で訪問介護事業所（障害福祉・介護保険併設）を設立して以来、まずは私自身が幸せな経営者になること、そして、幸せな経営者をたくさん創ることを目指してきました。
経営者が幸せになれば、社員の処遇改善につながり、社員も幸せとなります。
幸せな気持ちを持つ社員がお客さまを訪問すると、お客さまも幸福感を持っていただけることとなり、こうした幸せの循環によって、すべてが上手くいくと考えます。

障害福祉サービスの多くは、奉仕・貢献といった色合いの濃い側面が残っていると思います。それは尊く、大事なことでもありますが、一方で、支援する側も支援を受ける側も、ともに幸せになることによって、障害福祉サービスには新しい地平が見えてくるように私は考えます。そのための重要な要素のひとつが、社員の処遇改善であると私は信じています。

福祉事業の経営者は、自らが幸せになることはもちろん、社員の処遇改善を通じ、支援する側・支援を受ける側に幸せの循環がスムーズに、すみやかに生まれるように、全力で取り組む必要があると、私は思います。

私は、福祉サービスの中でも、特に利益を生み出しにくい業種であるといわれる訪問事業において、経営者ひいては関わる人々すべてが幸せとなるノウハウを編み出し、かつ、福祉の「王道」である正直さ・謙虚さを胸に、日夜業務に邁進してきました。まだまだ道半ばではありますが、よりいっそう精進してさらに大きな幸せの輪を、日本全国に広げていきたいと志しております。

ともに新しい障害福祉の未来を創っていきましょう。

<プロフィール> 植野 康弘（うへの やすひろ） 1970年5月20日生まれ
まごのてグループ株式会社 代表取締役社長
まごのてグローバル株式会社 代表取締役社長
セルフサポート株式会社 代表取締役会長

京都府京都市出身、京都市在住。高校卒業後、不動産・建築業・飲食業・営業・漁師等、様々な職種を経験した後、23歳の時、結婚を機に介護業界に入り、介護療養型医療施設・介護老人福祉施設（特養）等で経験を積む。介護主任・施設ケアマネ等を歴任。

こうして介護現場の最前線で得た経験をもとに、介護業界での常勤・非常勤の格差問題の解決や、介護職員全体の地位向上・処遇の改善を目指し、2008年にセルフサポート株式会社 設立、「訪問介護まごのて」第1号店を京都・西陣の地にオープン。

常勤雇用中心・若い男性ヘルパー中心という、業界の常識を覆す運営スタイルと、障害福祉サービスを基軸に据えた訪問介護のノウハウを確立し、1年半後には、1事業所で月商1800万円に到達。その比類なきノウハウを世に広めることで、「日本全国に豊かな社長をたくさん育てる」ことをミッションに、2011年にまごのてグループ株式会社をFC本部として設立。

「加盟金0円」や「ロイヤリティーが年々下がる」という、これまたFC業界の常識を打ち破る取り組みが評判となり、現在、京都市内を中心に全国に展開中。

FC内では、西陣事業所以外にも月商1000万超えの事業所も続々登場してきております。

現在では、訪問介護を中心に訪問看護・居宅介護支援・デイサービス・放課後デイサービス・相談支援・介護タクシー・資格取得研修センターなど、介護保険・障害福祉の垣根を越えて北は北海道、南はフィリピンマニラまで36法人61事業所を統括。（2021年12月現在）

◆自由民主党 政務調査会 社会保障制度調査会 介護委員会にヒアリング団体として出席し、『介護サービス事業所・施設等における新型コロナウイルス感染症対策について』意見提言を行いました。

<http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/20220228jimintou.pdf>

◆「障害福祉事業部会 設立総会・記念講演」を開催いたします（2022年3月18日）

<http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/syougaisoukai-20220318.pdf>

◆抗原検査キットにおける会員価格でのご提供について

株式会社イメージワン

担当者・連絡先：ヘルスケア事業部 薬事グループ 藤野・馬場

email: yakuji@imageone.co.jp

TEL:03-6233-3420 FAX:03-6233-3411

取り扱い商品：

体外診断用医薬品 タウンズ社 SARS コロナウイルス抗原キット

イムノエース SARS-CoV-2 II（鼻腔ぬぐい液・鼻咽頭ぬぐい液）

価格：1,950円（税込み・送料込み）【製造：日本】

発注単位：10個から（10個単位）

http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/02/tauns_sara-cov-2-20220124.pdf

◆日本デイサービス協会

【デイサービス5選】3/16（水）オンライン発表会（無料）を視聴予約

限定1,000名様！お早めにお申し込みください！！

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Y5MV63idSVS4RhAJ7BWD-w

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

9分で分かる！障害者グループホーム24年同時改定に向けた生き残り戦略 新しいサービス分類が創設

<https://www.youtube.com/watch?v=Xzj6DsfYh7s>

10分で分かる！障害者就労支援24年同時改定に向けた生き残り戦略 新しいサービス分類が創設

<https://www.youtube.com/watch?v=AnmqCBswISO>

30分で分かる！介護職員処遇改善支援補助金 完全解説《Q&A 解釈》

<https://www.youtube.com/watch?v=uXhcHzii6XE>

【特別対談】竹中平蔵先生が語る 新型コロナ対策 アフターコロナはどのような

<https://www.youtube.com/watch?v=0liv0ta9Y8k>

【特別対談】竹中平蔵先生が語る岸田政権の掲げる『新しい資本主義』『成長と分配』

<https://www.youtube.com/watch?v=ubA86zqPiYo&t=880s>

【特別対談】竹中平蔵先生が語る 人口減少社会における経済発展と社会保障改革

<https://www.youtube.com/watch?v=LptPM7staLY>

【特別対談】竹中平蔵先生が語る 日本経済の未来は介護業界の肩に掛かっている

<https://www.youtube.com/watch?v=DE3TAZzMdCO>

【全国介護事業者連盟動向】

- 2月28日 三重県支部設立準備会の開催（オンライン）
- 3月1日 厚生労働省 老健事業『介護現場における生産性向上の取組の効果的な推進方策に関する調査研究事業』第3回調査検討委員会に理事長が参加（オンライン）
- 3月2日 国際・アジア健康構想協議会 『第7回 アジアに紹介すべき「日本的介護」の整理（事例の整理等）ワーキンググループ』に理事長が参加（オンライン）
- 3月3日 株式会社高齢者住宅新聞社 主催『24年同時改定を見据えた生き残り戦略とは』オンラインセミナーで理事長が講演
- 3月4日 厚生労働省 老健事業『介護分野の文書の簡素化・標準化・ICT化に関する調査研究事業』第4回検討委員会に理事長が参加（オンライン）
- 3月4日 厚生労働省 老健事業『在宅生活継続にあたり通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護が果たす役割に関する調査研究事業』第3回作業部会の開催（東京都 オンライン）
- 3月7日 第18回常任理事会の開催（オンライン）
- 3月7日 厚生労働省 老健事業『介護現場（在宅系サービス）における持続的な生産性向上の取組を支援・拡大する調査研究』第3回調査検討委員会に理事長が参加（オンライン）
- 3月8日 新潟県支部幹事会の開催（オンライン）
- 3月8日 厚生労働省 老健事業『介護事業所に対する調査等における更なる負担軽減に向けた方策等に関する調査研究』第3回調査検討委員会に理事長が参加（オンライン）
- 3月8日 京都府支部設立準備会の開催（オンライン）
- 3月9日 厚生労働省 老健事業『在宅生活継続にあたり通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護が果たす役割に関する調査研究事業』第3回検討委員会の開催（東京都 オンライン）
- 3月9日 Care TEX 東京 2022『次期改定に向けた介護事業所の生き残り戦略～カギを握るのは科学的介護～』で理事長が講演（東京都）
- 3月10日 日本デイサービス協会理事会に理事長が参加（オンライン）
- 3月10日 日本維新の会 厚生労働部会との意見交換（東京都）
- 3月11日 全国介護事業者政治連盟 役員会の開催（東京都 オンライン）
- 3月11日 第30回理事会の開催（東京都 オンライン）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

全世代型社会保障構築会議（第2回）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/zensedai_hosyo/dai2/gijisidai.html

第 24 回社会保障審議会介護給付費分科会(介護報酬改定検証・研究委員会) 資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24120.html

文書負担軽減や手続きの効率化による介護現場の業務負担軽減に関する調査研究事業

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000906790.pdf>

『第 2 回 適正な有料職業紹介事業者』が認定

<https://www.jesra.or.jp/tekiseinintei/>

「外国人新規入国オンライン申請」の受付開始について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24101.html

介護給付費等実態統計月報（令和 3 年 1 1 月審査分）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=k2k0XnTyCYxobagBY>

「人口動態統計月報（概数）」令和 3 年 10 月分

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=5x2FWXqtSvLLXZN1Y>

第 208 回社会保障審議会介護給付費分科会（持ち回り）資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=k2ngowqWQ6Mp920BY>

2021 年度（令和 3 年度）特別養護老人ホームの人材確保に関する調査について

https://www.wam.go.jp/content/files/pcpub/top/scr/220307_No015.pdf

令和 3 年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業に係る Q & A 集（追加）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000907383.pdf>



■ 介護ニュース

全世代型社会保障、重要テーマに「家庭介護の負担軽減」政府 財源論は棚上げ

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-03-10.html>

介護事業所の書類保存、データ化進まず多くは「紙で保存」厚労省調査

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-03-09-2.html>

かかり増し経費の補助金の再交付を 介護事業者が自民に要望 融資の要件緩和も

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-03-01-2.html>

介護施設のクラスター、再び過去最多 1 週間で 500 件超に

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-03-09-3.html>

特養の人手不足、厳しい状況続くもやや改善 WAM「他業界の求人減少も影響」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-03-09.html>

厚労省、感染者らに対応した訪問介護のヘルパーへの特別手当を公費で負担 自治体に通知

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-03-04.html>



■ 賛助会員広告【株式会社ケアコネクトジャパン】

賛助会員の(株)ケアコネクトジャパンでございます。

■会社概要& CAREKARTE について

弊社は介護記録に特化したシステム CAREKARTE の開発、販売をしている介護システム専門メーカーです。

<https://www.carekarte.jp/>

■介護業界のトップリーダーをお迎えする WEB セミナーのご案内です ※参加無料

3月は毎週木曜日に介護のトップリーダーをお招きして、それぞれの視点で「業界の今」について語っていただきます。

・3月17日(木) 14:00~15:00

「アフターコロナの介護の採用」

登壇者 (株)Blanket 代表取締役 秋本 可愛 様

・3月24日(木) 14:00~15:00

「介護事業者の生き残り戦略」

登壇者 一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤 正行 様

・3月31日(木) 14:00~15:00

「ICTを活用した自立支援介護」

登壇者 社会福祉法人正吉福祉会 理事 齊藤 貴也 様

申し込みは下記よりお願いいたします。

<https://www.carekarte.jp/news/events/5171/>

<詳細なお問い合わせはこちら>

株式会社ケアコネクトジャパン

<https://www.carekarte.jp/contact/>

※お問い合わせ種類：「その他」をお選びいただき、お問い合わせ内容にセミナーに関する問い合わせの旨記載ください。

(お電話でのお問い合わせはこちら)

TEL：054-202-0300(受付時間 9:00~18:00 土日祝除く)

担当：ツナぐ課 高田



4割の施設が「仮眠室無し」 夜勤の労務環境改善に向けた対応を

日本医療労働組合連合会は2月17日「2021年 介護施設夜勤実態調査結果」の結果を発表しました。回答した全国142の施設のうち87.6%が2交替勤務であり、そのうち80.5%が夜勤時間16時間以上となっています。

また、夜勤時の休息・仮眠時間は2交替の場合で平均2時間17分（就業規則上の時間であり、実際にそれだけの休息・仮眠がとれているかは不明です）

最も短い施設ではわずか30分です。また、39.2%の事業所に仮眠室が無く、特に小規模多機能など規模が小さい施設ほど無い割合が高くなっています。

このように、夜勤環境については「劣悪」と言わざるを得ない施設も見受けられます。深刻な人手不足が続く中、夜勤可能なスタッフは貴重な存在です。

夜勤専門スタッフの場合は、勤務時間の関係上、本社スタッフなどに接する機会が少なく、労務環境をはじめ、自分の意見を届けることが困難です。

彼らが高いパフォーマンスを発揮できるよう、会社として目配り・心配りをしっかりと行いましょう。

【配信元】

一般社団法人全国介護事業者連盟

<http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-1-4 西脇ビル4階

TEL：03-5215-5063 FAX：03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp